



出版30周年を祝う ◆ 1982年~2012年

2012年4月発行
第29号 / 2号APRIL 2012



2012年WSC○悩みを簡単に手放す方法○降伏から勝利へ○PR（広報活動）最新情報

私たちの第一の目的が、私たちの未来を照らす

責任をもって やれるようになる

クリーンになりたてのころ、俺はリハビリ施設で14ヵ月を過ごした。その間には、スポンサーもホームグループもでき、サービスにもかかわるようになった。NAのミーティングは丘の上でやっていたので、毎日施設から坂を登っていく。それがまた、長い道のりだった。そのせいで、土曜夜のミーティングは「ワン・モア・ブロック（1ブロック先の）ミーティング」と呼ばれていた。新しいメンバーを同行するときまたのように「あと、どのくらい？」と聞かれ、他の連中は「もう1ブロック先だよ」と答えることになるからだ。会場に着くまでずっとそんなやりとりをしては、みんなで笑いかけたものだ。

こうして回復の道を歩みだしたばかりの俺は、ミーティングでだれかが立ちあがり、30日、60日、90日のキータグを全部一度にもらおうとしたりするのを見て、わけがわからなくなることがよくあった。「こういう仲間たちは、その間ずっとミーティングに来ていないのに、どうしてクリーンでいられるんだろう」と自問していた。

スポンサーからは、責任をもってやるということをとたき込まれた。約束したと思ってやるようにと言われ、俺は6ヵ月間、グループで信頼される僕（しもべ）を努めることになった。つまり、これから6ヵ月の間、毎週月曜のミーティングに出席して、会場の準備と後片付けをしなくてはならなくなったのだ。その間、ミーティングに行く気がしない日があっても、スポンサーが、これは自分で約束したことなのだと思いますと教えてくれたし、6ヵ月の間でも責任をまっとうすれば、俺の自信になると教えてくれた。たしかに自信がもてなくては何も始まらないのだから、俺はミーティングに行った。

責任をまっとうすることによって、俺はNAにとけこんでいるという感じがした。回復すればいいやと、ただミーティングに通っているのではなく、本当にNAのメンバーになったのだ。俺はこれまで生きてきて、自分が何かに属しているなどと感じたことは一度もなかった。家族といっても、友達とつるんでいても、クラブやサークルに入っている、学校にいても、どこにいてもつねに自分がよそ者のように感じていた。そして「ハタ」と気づいた。だれであろうとどんな集まりであろうと、俺は役に立とうとしたためしがない。家族にも尽そうとしなかったくらいだから、だれか

に対して約束したことを最後まできちんとやり通すなど無理な話だった。それが、生まれて初めて、NAにつながってようやくできたというわけだ。責任をまっとうしたから、俺には居場所があると感じられたのだ。スポンサーは正しかった。俺は自信が

つき、ちゃんとした人間になれたような気がした。俺は、やると決めたことはきちんとやり抜く、と胸を張って言えるまでになったのだ。

リハビリ施設には、車を持っている仲間がひとりいた。この仲間は毎晩、車でミーティングに通っていたが、同乗できるのは3人までだった。しばらくしてから、俺は車に乗せてもらえるようになり、この仲間と一緒に隣のミーティングに行くことができたので、毎晩あの坂を登らなくてすんだ。この仲間と俺は気が合い、ミーティングの行き帰りに回復のことやNAのサービスについて話すうちに、ふたりの間には絆ができた。それから1年ぐらいて、俺は自分の車を手に入れ、エリアにある解毒施設でH&I（病院施設委員会）のサービス活動にきちんとかかわるようになった。毎週火曜日には、スピーカーを努めてくれる仲間を乗せて解毒施設に行った。

それからさらに1年がすぎたころ、このリハビリ施設の仲間が罪を犯して逮捕され、懲役15年以下という判決を受けた。俺は刑務所に面会に行き、ふたりにNAの話をした。そして面会のたびに、この仲間から「いつまで、こうして忘れずに面会に来てくれるんだ？」と聞かれた。俺は来られるかぎり、ずっと来るつもりだと言った。2年ほどして、俺は5年目のクリーンタイムを祝った直後に、この仲間が出所するまで面会を続けると心に決めた。1年に3回か4回。日曜の朝になると早起きしてスーパーに行き、食料品を袋いっぱい



買い込む。そしてこの仲間と面会するために、どこの刑務所であれ、出かけて行った。ただし、俺はこの仲間の面会者リストに載っていたため、州の刑務所内ではH&I（病院施設委員会）のサービス活動をするのができなくなってしまった。そこで、面会を続けている間は、郡の刑務所やリハビリ施設、解毒施設などでH&I（病院施設委員会）のサービス活動を行っていた。クリーンになる助けになってくれた友だちのために、力になろうと心に決めたのだから、何がなんでも、やり通すつもりだった。

この仲間は10年間服役し、服役中もずっとクリーンでいた。出所の日に、俺は車で迎えに行った。そして自分の部屋が借りられるようになるまで、俺の部屋に寝泊まりさせていた。数か月して、この仲間が14年目のクリーンタイムを迎えたときに、俺は11個のメダリオンを贈った。この仲間が服役している間に迎えた4年から13年までのクリーンタイムに贈られるはずだったものだ。祝い場であったが、だれもが涙をこらえられなかった。

もしかすると、ハイヤーパワーが俺に責任をまっとうすることを学ぶ機会を与えてくた、この仲間を刑務所に入れたのだろうかと思ったりすることもあるが、でも、ハイヤーパワーはそこまで無慈悲ではない。たぶん、この仲間の身に何が起るか、ハイヤーパワーにはわかっていたのだ。だから、何とか理由をつけて、俺がこの仲間の車の後部座席に乗るようにしたんじゃないかな。こうして責任をもってやるというスピリチュアルな原理を、NAで教えてもらったことに感謝している。おかげで、俺はうまく生きられるようになった。

エリオット・L
(アメリカ合衆国/ニューヨーク)

追伸 2011年12月： この刑務所に入った仲間によって、俺が責任をもってやるというスピリチュアルな原理を学ぶことになった話は、2006年か2007年ごろに書いたものだ。この仲間は、GSR（グループ代表）やH&I（病院施設委員会）のパネルリーダーを立派に努め、それ以前にもエリアセクレタリーとしてサービスに励んでいた。そして17年以上もクリーンで生きて、昨日の午後心臓発作を起こして亡くなった。エリア全体が悲しみに沈んでいる。

世界中のNAメンバーたちから

サービスに関する考えや、サービスを受けた感想を聞いてみたい？

あるいは、
自分から

サービスで経験したことや、サービスに関する考えを伝えたい？

以下のテーマで、何百という仲間たちが世界のあちこちで交わっている会話に加わろう。

活動、イベント、コンベンション

NAの歴史、保存資料、記録文書

H&I（病院施設）

文献および文献販売

ニュースレター

アウトリーチ活動

電話サービス

広報活動

サービスオフィス/ サービス法人

翻訳

ウェブサイト/ サイト管理者

<http://disc.na.org/servdisc>

ワールドサービスカンファレンス出席者による話し合いは、以下のサイトで経過を見守っていただきたい。

<http://disc.na.org/wsc/index.php>



第31回

ワールドサービスカンファレンス
私たちの第1の目的が
私たちの未来を照らす

2010年4月29日～5月3日

アメリカ合衆国カリフォルニア州ウッドランド・ヒル

カンファレンスアジェンダレポートは
以下のサイトで、閲覧または購入可能
www.na.org/conference

(スペイン語による案内は、www.na.org/conf-span)

カンファレンスアジェンダレポート
・『リビングクリーン：ザ ジャーニー コンティニューズ』
・サービスシステムプロジェクト
・リージョナル プロポーザルズ
・F I P Tに関する動議

上記に加えて

カンファレンス アブルーヴァル トラック (C A T) に関する資料

ここでは、予算、プロジェクトプラン、戦略的プラン、シーティングレポートなどが盛り込まれている。



ノルウェーでのキャンプ生活、あれこれ

1997年以来、わたしは毎年ノルウェーの南にある島に行っている。年に1回のNAキャンプアウトに参加するためだ。今年もまた、ころころと変わりやすい天候の中で1週間のキャンプ生活をするため、必要なものを一式車につめ込んで出かけた。ビキニと日焼け止めに、長靴と雨具も忘れずに。備えあれば万が一のことも。島までは約5時間の道のりで、着いたとたん土砂降りの雨になった。わたしは人手を借りて荷物を森の中に運んだ。ここまで来ればあまり人もいないし、心静かにキャンプ生活ができるだろう。でも、荷物を運んでいるうちに衣類がほとんど水浸しになってしまった。

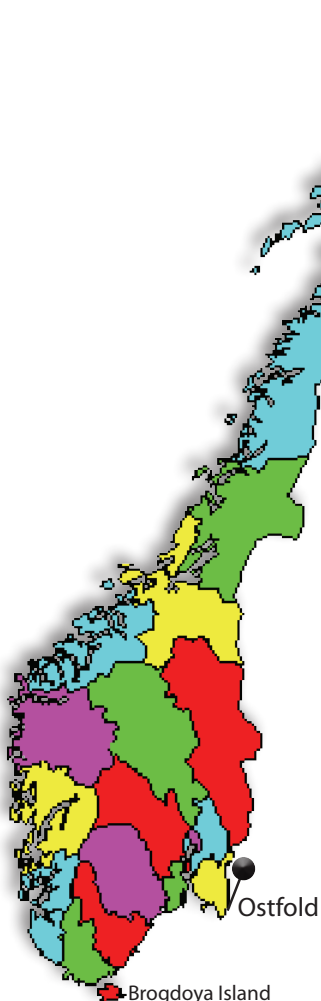
島には、すでに先客がいた。9日間ないし10日間のキャンプ生活をするため、数日前に到着した仲間たちだ。キャンプ場にはところかまわず、ありとあらゆるサイズや色のテントが張られていて、みんなが「お帰り」と言いながらハグと笑顔で迎えてくれた。私の娘は、もう来ていた。小さいときからNAになじんでいるので休日にはメンバーたちと一緒に過ごしているが、ありがたいことに娘はアディクトではない。

その夜にはキャンプアウトの開始となるスピーチミーティングがあり、わたしはさっそく出席した。帰ってきたという実感がわく。翌日の朝は羊に起こされて、いつものように朝のミーティングに出席した。この午前10時に行われるミーティングは、このブログドヤ島でわたしのホームグループになっている。グループでは、毎朝、ノルウェー語に翻訳された『今日だけ』を読むことになった。そうやって一日中いくつもミーティングが開かれ、NAの12ステップをはじめ、ありとあらゆるテーマでわかちあいが行われていた。

そうこうするうちに、家族やいろんなペットを連れたアディクトたちが続々と到着し、キャンプ場はいっぱいになっていく。みんな参加料金を払ったうえで、サービス活動表の時間枠に名前を書き入れた。夜になるとキャンプ場のあちこちでバーベキューが行われ、そのまわりに人が集まり、それぞれに座って談笑したり、わかちあいをしたりしていた。わたしは恋人が到着したので、「大人同士でしみじみとキャンプをする」相手できた。もともと、わたしは人ごみにいるとひとりだけ場ちがいなように思えてちょっと落ち込んだりするのだけど、そんなおなじみの孤独感も、わかちあいのなかで仲間が共感してくれたとたんに消えていった。わたしたちのようなアディクトがいきなり300人も集まって一緒にやっていくのだから、みんながみんなすぐにとけこめるわけじゃない。

それでもまあ、キャンプの日々は過ぎていく。わたしたちは日がな一日、わかちあいをして、だんだんうちとけていき、グリル料理を楽しんだり、入浴をしたり、買い物に（島の反対側へ）行ったりした。そして夜になるとダンスを楽しむ。夕飯には、魚のスープをみんなで一緒に味わうこともあった。そこにはあふれんばかりの優しさと思いやりがあった。子どもたちと若い仲間たちはここにいるのが楽しくてならず、一緒になってあちこち歩き回っていた。

そして、恋人とわたしがふたりで登録してあったサービス活動に向かったところで、緊急ニュースを耳にした。オスロで政府の建物が爆破されたらしい。キャンプ場に衝撃が走った。なんだって？ このノルウェーで？ それだけだった最悪なのに、さらにまた、どこかのだれかが正気を失って、同じノルウェーの北の方にある島で大勢の若者を銃撃したというではないか。刻々と入ってくるニュースでは、この2つの事件による死亡者は92人にのぼると伝えていた（この数字は、のちに77人と訂正された）。政治的に過激な人物が、政府の建物周辺で自動車に仕掛けた爆弾を爆発させたあと、車で北の方にある島に向かい、その島で行われていた別の政治団体が後援するキャンプに参加していた若者たちを85人も射殺したのだ。国全体がショック状態に陥った。これは、第二次世界大戦以降にノルウェーで発生した最悪の連続殺人事件となった。そのため、わたしがこれを書いた事件直後には、国全体が喪に服していた。事件のあった次の日には、スポンサーがカリフォルニアから電話をしてくれたので、幸いNA



メンバーには死亡者はひとりもないが、わたしの前の職場では爆弾によって7人が死亡したと伝えた。オスロの街はバラの花で埋め尽くされた。

NAにはスポンサーシップやミーティングがあるし、仲間たちがいる。ほんとうに辛いときには泣きながら自分の気持ちを話せるところがあるのは、ありがたいことだ。でも、今回のことで気づいたのはそれだけじゃない。わたしにも国を愛する心があった。だから、国中が悲しみに沈んでいることで、自分だけ取り残されたように思うこともなかった。クスリを使いまくっていたころだったら、居づらくて逃げ出してしまったら。母国なんて意識はなかつたもの。それが運良く、ノルウェーにNAという仲間の集まりが誕生して、あっという間に広まっていったことで、わたしにも居場所ができ、自分の思いや、経験と希望と力をわかちあうことができるようになったのだ。

モニカ・A (ノルウェー/エストフォール)



信じるようになった

NAにつながったときのぼくは、これまで何をやってもうまいかなかったのだから、このプログラムをためしても失うものは何もないと考えて、ミーティングに出席した。クリーンになって3ヵ月すると、スポンサーの助けを借りてステップに取り組むことになった。それまで自己啓発（自分自身で気づきや理解を深めていくこと）に関する本を読みあさっていたので、ステップも同じようなものだと思っていた。仲間とやるのがどれほど自分のためになるのか、わかっていなかったんだ。スポンサーから提案されることも、自分のとるべき最良の道を示してくれると信じ切れたわけではないが、それはそれとして、とにかく提案されるまま前進をつづけた。そうしてぼくはステップに取り組むことで、希望を見出し、健康な心を取りもどして、人間らしくふるまうことができるようになっていった。

ぼくが回復していくなかでもっとも苦しかったのは、コンベンションの会計になって一部のメンバーたちに信頼してもらえなかったときだ。ぼくは、この役目を引き受けてまもなく仕事を変わり、新しい会社で商品の輸出入業務をこなさなければならなくなった。このため、2ヵ月間にわたって混乱状態にあった。はじめてやる仕事に多くの時間をとられ、サービスに専念できなくなってしまったのだ。でも、これは落ち着くまでの一時的なことだからと、サービス委員会のミーティングを何回かサボった。信頼が失われた結果（仲間内であっても金銭がからむ以上は当然だし、ステップ9と10に取り組んだ後ではなおさらそう思った）、ぼくに会計報告書の提出を求めるために緊急のミーティングが開かれた。

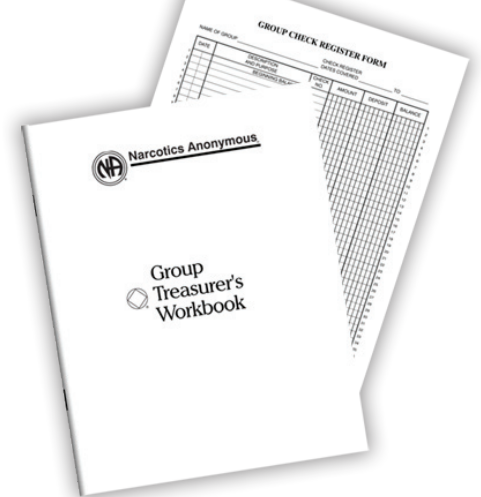
当日、会計報告書は提出したが、それでも満足しないメンバーたちがいて、ぼくに会計をやめるように求めた。ぼくは、会計がおろそかになったのは仕事でいろいろあったためだと説明したうえで、自分に落ち度があったことを認めた。けれども、時間ができ次第、サービスに関することは全部解決すると説明した。ぼくは、報告書に記載した金銭の収支の控えや領収書を全部持参していた。委員会のメンバーたちがそれとつきあわせて報告書を見直したところ、記載内容にはまったく誤りがなかった。委員会はグループの良心によって決定を下し、ぼくは会計にとどまれることになった。

ぼくは心が乱れていたたまれなかった。そこで、ステップの4と5に取り組んだときのことを思い出し、ここでもまた、毎日のように助けを求めた。ステップの4と5に取り組んだ経験があったから、自分がどういう人間であるかを知り、によく見られようとしたりせず、あるがままの自分を

さらけ出すことが大事なのだと、再確認できた。そしてステップ2人に立ち戻り、ハイパーパワーが働いていたから、ぼくはとっさの衝動にまかせて行動せずにいられたのだし、自分を失わないでものごとを行うことができたのだと気づいた。それで、委員会のメンバーたちはぼくを問いただす権利があったのだという事実も、受け入れることができた。ステップに取り組む前だったら、そんな権利には納得がいかなかったら。でも、根気よくサービスにつくそうという気持ちをもって自分なりに理解する神を信頼していれば、自分にはできなかったことができるようになってもらえるのだ。そういうことを考えて、ぼくはよく見られなくてもいいから、よい仕事をしたいと思った。

ぼくは、コンベンションの終了から1週間後まで会計を努めた。詳細な報告書を提出したが、それでも理解できないメンバーがいたので一緒に何度も見直しをするはめになったあげく、その結果にも全員が納得いくまで見直しを行った。そして、騒ぎがおさまってみると、ぼくはこれまでにない大きな満足感を味わった。わだかまりを捨てて、ステップやハイパーパワーの配慮によってなされることを信じたら、1セントの単位まできっちり請求書や受領書によって裏づけられた会計報告書を提出することができたのだ。

はじめてサービスにかかわったメンバーからは、どうしてぼくがこんな騒ぎに最後まで耐え抜くことができたのかわからないと言われた。それでぼくは、自分がNAプログラムによる回復のプロセスを信じなかったら、人生に起こることは何の価値もないものになってしまうということを学べるようにと、ハイパーパワーがこのような状況を与えてくれたんだ、と答えた。ぼくはどこまでいっても欠点だらけのアディクトで、ちっぽけな人間だけど、ハイパーパワーはそんなことをものともせずぼくを正気でいられるようにしてくれる。だから、ぼくは仲間に害をなすことはないのだという



ことを少しずつ学んでいった。こうして理解したことは、人生を生きるなかで日々、まちがっていないことがわかる。今のぼくは、感謝するだけにとどまらない。ステップに取り組みながら信じられるようになることを通して、神がしてくださることを信頼している。

ホセ・ルイス・A
(ドミニカ共和国／サンタ・ドミンゴ)

降伏から勝利へ (負けるが勝ち)

1 あたしには、血がつながらなかつたり片親が違ったりする兄弟や姉妹がたくさんいる。親たちは、精神病院で出会った者同士。そんな家庭で、あたしは生まれた。片方の親が違う兄弟のなかで、姉とあたしより10才年上の兄は、クスリに溺れていた。そんなだから、姉とあたしへの虐待も日常茶飯事のようにくり返され、いつのまにか兄の友だちまで虐待に加わるようになっていた。そして、姉とあたしは「お茶」を何杯も飲まされた。ひどい味で、頭がくらくらした。何が入っていたのかわからないけど、虐待される痛みや恐怖をまったく感じなくしてくれるから、あたしはこの「お茶」が気に入った。あたしが9才の時、この兄が刑務所に入ったので虐待はなくなったけど、あたしはあの「お茶」が飲みたかった。虐待の痛みや恐怖は消えなかったし、自分がされたことを恥じたり後ろめたさを感じたりするのがいやだったからだ。

あたしは長い間、アディクションにはまりこみ、虐待をともなう恋愛や入退院をくり返していた。19才になってすぐ、クスリをやり過ぎておかしくなった。ある宗派に属する病院に送りこまれ、そこで働く看護人たちから、あたしは悪魔にとりつかれた罪深い人間で、もう一度使ったら死ぬだろうと言われた。でも、そんな恐ろしいことを言った人たちが、あたしをNAのミーティングに連れていってくれたのだ。そこにはクリーンのアディクトがいっぱいいて、ハグを交わし合い、あたしのことも大歓迎してくれた。みんな、祈ったり何かを唱えたりして、ハイヤーパワーとかスピリチュアルな原理だとかの話をしていった。あたしは、兄に取りついた悪魔がこの「宗教かぶれの連中」に姿を変えて、あたしを捕まえに戻ってきたんじゃないかと怖くなった。それでも、ミーティングに出ているうちにみんなの話が耳に入るようになった。なんだ、あたしと同じじゃない。この人たちは、あたしのことをわかってくれた。子供のころに虐待されて恐怖と向き合えずにいたのは、あたしだけじゃなかった。生まれて初めて、仲間と出会ったのだ。スピリチュアルな原理や

ステップは理解できなかったけれど、あたしは死にたくはなかった。だから、ミーティングに出て『今日だけ』を読み合わせることで、このプログラムにはいろんな考え方があるんだということだけはわかった。

そして、あたしは自分がクスリを使うようになったのは、家族にアルコール乱用者が何人もいたからだとしじつけて、NAを離れ、別の12ステップ・プログラムに参加するようになった。自分が病気だということがどうしても認められなかったのだ。それで、べつにNAのプログラムでなくても同じように12のステップを使っているのだから、とらわれや、屈辱感や、罪の意識をなくすことはできるはずだと思った。でも、NAのプログラムがなければ、あたしはアディクションと闘うすべがなかった。NAを離れても2、3年ぐらいグリーンではいたんだけど、かなり年下の男性とすごく不健康な関係をもつようになった。しかも、相手はクスリに溺れていた。あたしは5年間使わないうちに元に戻ってしまった。

あたしはようやく、自分がアディクトで、生きることがどうにもならなくなっているという事実を認めた。つまり、自分からは逃げられないし、グリーンでいたいなら降伏するしかないということだ。あたしは不健康な関係を終わらせ、グリーンになってふたたび歩みはじめ、大学に行った。NAでやるべきとされていることは何もかもやる覚悟ができ、現実目を見れば、アディクションという病気がどういふものであるかがわかった。そして、あたしは自分の問題に取り組まないわけにはいけなくなった。こうして8年間はグリーンでいたが、それでもまだこの病気を甘く見ているところがあったので、リラプスしてしまった。自分はアル中じゃないんだから、たまに一杯か2杯引っかけぐらいかまわないだろうと思ったのだ。6か月のあいだ罪悪感に苦しんだあげく、あたしは自分にうそをつくのをやめ、ホームの仲間たちとスポンサーにうちあげた。8年のメダルリオンを返して、6か月のキータグをもらった。

ここ2年は、自分でも目を見はるものがあつた。もう一度ステップに取り組んでいる。自分が受けた虐待のことも一生の秘密ではなくなったし、気持ちの整理がついて、自分の身に起きたことを許すことができた。それも、回復の道具を使うことをおぼえて「人生をあるがままに受け入れる」ようになったからだ。生きていくのは大変だけど、あたしは困難に直面してもグリーンでいたし、そのたびにハイヤーパワーを信頼することを学んだ。条件づけや正当化をしないためには、正直さや広い心、やる気、そして謙虚さが必要なこともわかった。そして、自

分がどのような人間なのかわかってくると、そういう自分を正気に戻して欠点を取り除いてくれるスピリチュアルな原理がどれなのかもわかった。グリーンでいることと、回復の道を歩むことの違いも学んだ。これからは、こわれた人間関係を修復して、埋め合わせをしていく。今のあたしは、感謝の気持ちで回復の道を歩むアディクトだ。ミーティングに通いつづけ、ステップを実行し、サービスにかかわって、自分の人生を大事にしようと努力している。そうやって、降伏しているかぎり、あたしは勝ち続けるだろう。

ローリー・C (カナダ／オンタリオ)



とらわれから自由に なるとは？

おれは、アディクトのガーソン。クリーンになって15年だ。このまま回復の道を歩みながら、16年目を祝えたらいいなと思う。NAの仲間たちは「とらわれから自由になった」とよく言っているし、この言葉はNAの文献にも所々に書かれている。それはわかっているけど、でも、このおれが「とらわれから自由になる」って、一体どういうことなんだろう。

回復の道のりは、おれがこれから先も死ぬまで歩いていくものだ。クリーンになって以来、おれはあらゆる面で信じられないほど変わったけど、だからといって、かつてのような破滅的で正気を失った行動が自分の生き方を支配することがまったくないわけではない。これはアディクションの症状で、長く続きはしないが、それでもこのような症状が現れている間は、おれは使っていたところ何ら変わらない人間になってしまう。病気だからし方がないとはいえ、NAで使わないで生きられるようにしてもらった以上は、回復する責任があるんじゃないのか。

おれはエクアドルでNAにつながり、クリーンになってからスペインに移った。だが、この世界的な不況ではどうにもならず、今度は英国に移った。それから人生を立て直すのに2年ほどかかったが、英語を覚えたので、かなりいい仕事にありついた。それなのに、回復の道を歩むアディクトがおちいりやすい状態を忘れていたため、あっという間に職を失った。何でだと思っ？ ある日、上司から仕事を言いつけられたんだけど、その言いぐさが気に入らなかった。それで、上司に向かって、もっとまじな頼みかたってものがあるだろうと言ってやったんだ。もちろん、そんな無礼な言い方もないよな。

おれは今も、ときどきこういうことをやらかす。そうすると、使っていたところと同じ状態になってしまう。おれの頭のなかでは、毎日、やりあう声がする。それが、ジキル博士とハイド氏のようにまったく別のことを言うんだ。おれはそれにつきあって生きなきゃならない。それでもおれは、とらわれから本当に自由になったのか？ たしかに、NAのプログラムを実践していれば、クスリを使わないでいられるようになる。アディクションの進行を食い止めて共存できるとっておきの手段をさずけてもらえるからな。ということは、アディクションという病は治まったわけではなく、いつどんなときも、現れる機会を狙っているというわけだ。これは、おれの考えでもあるし、これまでの経験からも言えることじゃないかな。

ガーソン・S (英国／ドーセット)

悩みを簡単に 手放す方法

回復の道を歩むアディクトのみんな、よく聞いてくれ。モーターサイクル・マイクは、2012年の心配料を1981年の価格に引き下げつもりでいる。新しいメンバーたちなら、これは聞き逃せない話だ。といっても、NAにつながったばかりじゃ、このサービスのことがわかるわけないだろうから、ここで説明しよう。

俺は、クリーンになって間もない1981年に、第12回NAワールドコンベンションの資金集めを手伝った。このとき、みんなで「ドラッグがなくても、ハグがある」とプリントされたTシャツを販売したんだが、俺はそれではあきらず、ユニークなサービスを提供する「組合」をはじめた。ここで働く者は、ゆだねることもハイヤーパワーを信頼することもできないアディクトに代わってよくよ悩むことで、わずかな手数料を得る。ということは、もっぱら、新しいメンバーたちのために働くことになる。最初のうちは、ステップ3の提案をどうしても受け入れられないからだ。こうして新しいメンバーに代わって悩むことは「NAワールドコンベンションに捧げる1日」と呼ばれた。

このような素晴らしいサービスを利用すれば、毎日わずか1ペニーの手数料で悩みを引き受けてもらえるので、クスリに頼ることもなくなるだろう。NAにつながって1か月を過ぎた場合、手数料が一日につき30セントになる。といっても、ひとりにつき悩みごととは5件までだ。このサービスによって、アディクトは自分にはどうしようもないことによくよして膨大な時間とエネルギーを費やすことがなくなるため、自分の回復のプログラムに専念することができるようになった。そして、NAにつながって1年が過ぎても、まだ自分に変えられないことでよくよ悩んでいたら、料金は跳ね上がる。というのも、それほど不安定でもっと支払うことになるくらいなら、信頼することを学んで手放せるようになる方がましじゃないかと考えるものだからだ。

この組合では現在、NAでしっかりプログラムに取り組んでいるメンバーが14人、スタッフとして働いている。一日3交代で週に40時間の仕事だが、ところどころで若干の残業もある。それぞれが毎日8時間、新しいメンバーが抱えているさまざまな悩みごとの心配をして、忙しく働いている。この14人のうち、俺を入れて何人かは今年で「本職」から引退することになるため、新しいメンバーたちに代わってよくよする時間をもっと増やせるだろう。俺としては、今年

で退職したら、だれにもどうすることもできないことで無駄に気に病むために、1週間に少なくとも20～30時間増やせればと思っている。

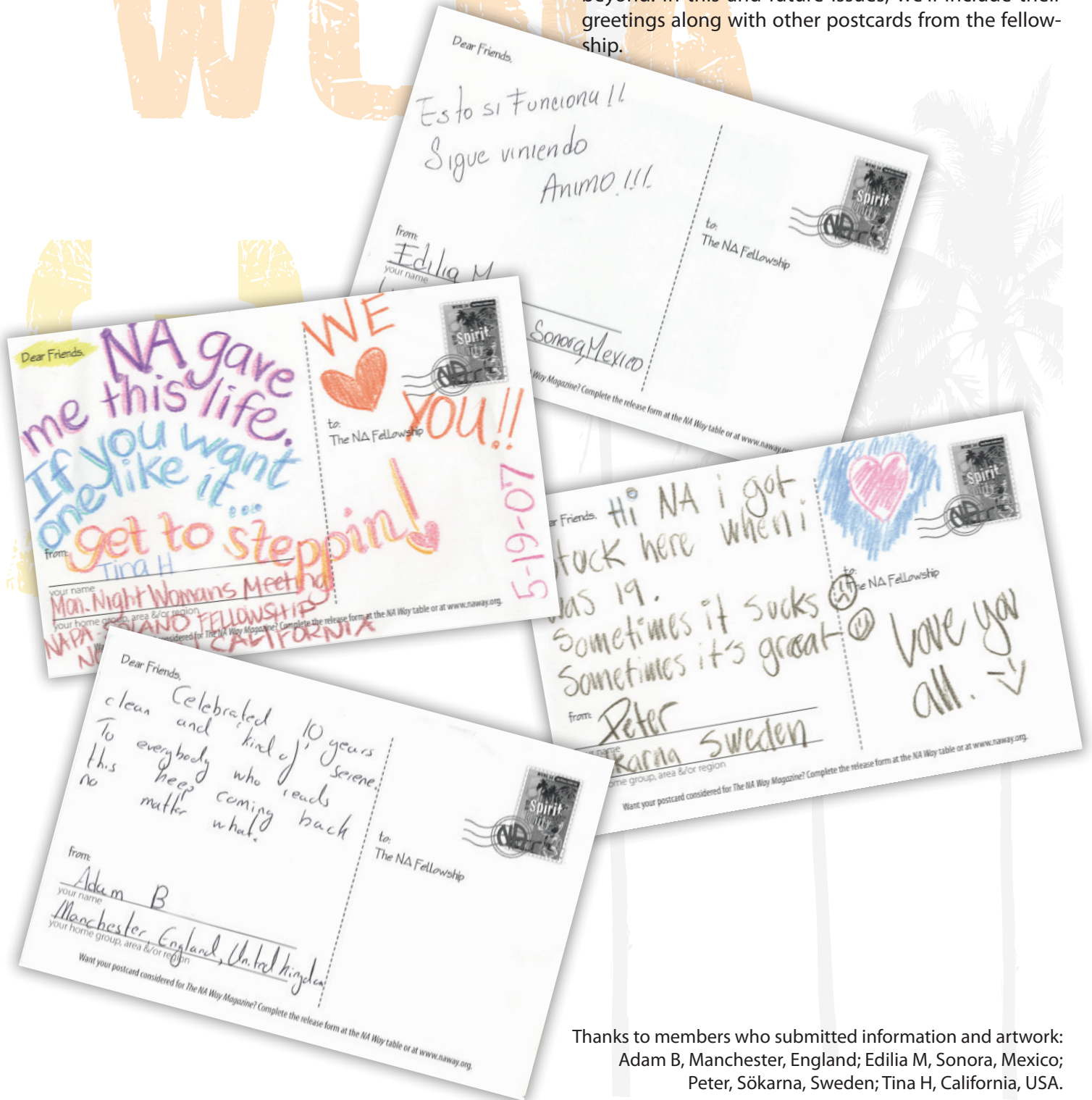
では、ここであらためて、前代未聞の申し出をしよう。悩んでいることがあったら、俺に送りつけてくれ。それから、ミーティングで献金袋が回ってきたときに、このサービスに自分が支払う料金に相当するお金を入れるだけ。あとはもう、俺たちスタッフが髪の毛をかきむしりながら気をもんだり、めそめそしたりするにまかせて、のんびりスポンサーと話をしたりコーヒーを飲んだりして、ゆっくりくつろいでいればいいんだ。

マイケル・B
(アメリカ合衆国／ウィスコンシン)

Electronic subscribers
can click here for
additional content.

Postcards from the fellowship

At [WCNA 34](#), members created their own postcards to share their recovery experience at the convention and beyond. In this and future issues, we'll include their greetings along with other postcards from the fellowship.



Thanks to members who submitted information and artwork:
Adam B, Manchester, England; Edilia M, Sonora, Mexico;
Peter, Sökarna, Sweden; Tina H, California, USA.

IN THE SPIRIT OF UNITY

San Diego, California ★ 1-4 September 2011

「私たちの未来像」に投資しよう

仲間たちのわかちあい

この「私たちの未来像に投資しよう」という連載記事は、世界経済が深刻な不況にみまわれているなかで始まった。NAでもメンバーの多くが生活をおびやかされ、世界中のNAやNAワールドサービスにも少なからぬ打撃を与えることになった。そのような状況がづくなかで、サービスに求められることは増えていく。私たちがNAの回復を求める声に応えていくのは、つまるところ、経済的な自立の「自立」がひとりひとりのメンバーやホームグループの問題にとどまらず、まさにNA全体の「自立」を意味するからにほかならない。その時々々の景気や、この世界のどこに暮らしているかに関わりなく、私たちが出せるものを出しあおうとしていく以外には、「世界中のアディクトがひとり残らず、NAのメッセージを受け取る機会が与えられる・・・」ことを確実にする方法はないのだ。今回は、過去と現在のNA Way マガジンに掲載された記事から、私たちの未来像に投資する必要性を訴える仲間の声に耳を傾けてみよう。

NAの献金は、メンバーの努め

T NAが外部の寄付を受けつけないとなれば、私たちは力を合わせなくてはならない。そうやって団結することが私たちの共通の福利になるのだと、今にしてわかる。ひとりひとりが自分の回復に努めるように、メンバーにはメンバーなりの努めがある・・・。ミーティングで回される献金袋は、NAの『伝統7』を機能させる入れ物であり、私たちが資金を提供する最良の方法だ。こうして資金が集まれば、ひとりひとりの12番目のステップ活動も、まだ苦しんでいるアディクトにメッセージを運ぶというグループの目的も、同時に支援することができる。

ML (アメリカ合衆国/カリフォルニア) ——— 1986年10月号

読者からの便り

お金に関する記事があっても、あたしはムカつかない。リージョンや国の単位で必要とされることがいろいろあるんだから、お金の話をしないわけにはいかないでしょ。でも、あたしは、そういう必要を満たすために献金をするとは考えていない・・・。あたしにすると、献金は「NAの資金を集める」方法よ。だって、あたしはNAに感謝してるからこそ、自分のお金をいくらでも差し出そうとするんだもの。これってすごいことだわ。アディクトのだれもがみんな、NAでそんな気持ちになればいいと思ってる。あたしには今、差し出すお金がある。それはクリーンになって仕事ができているからでもあるけど、自分さえよければいいとはほとんど考えなくなったからでもあるのよね。

アンドレア・P (アメリカ合衆国/ウィスコンシン) ——— 1998年6月号

NAで今、重要になっている10の問題

アメリカ中部のNAは、1980年代に驚異的な成長を遂げたものの、1990年に入ってから足踏み状態であるようだ・・・。ミーティングやサービス機構はメンバーたちの献金によって保たれている。だからといって、献金する余裕のないメンバーたちに気まずい思いをさせたり、献金できないことで「劣等感」をおぼえるようなことがあってはならない。メンバーに献金を奨励する場合は、スポンサーシップを通じて行いたいものだ。そして、新しいメンバーが繋がったときには、経済的な自立というNAのスピリチュアルな原理のことも、みんな自分にできる範囲で献金しているという事実を、きちんと伝えているだろうか？ グループを支えていくために、ミーティングの司会や会場の準備、お茶の用意などをしていこうと、メンバーたちをうながしているだろうか？ そもそも、社会でちゃんとやれるようになったメンバーたちが、繋がったばかりのころに献金していた以上に献金するようになっていなければおかしいのだ。

オメル・G, ビリー・H, ロング・M (アメリカ合衆国/オクラホマ) ——— 1999年1月号

『伝統 7』は、忘れられてしまったのか？

そして・・・ ホームグループにはお金をもっていくことを忘れてはならない。NAの仲間になれたことへの感謝や誇らしい気持ちを、そっと表す機会が待ち受けているからだ。そうやってホームの自立を助けることが、『伝統 7』であるとされている。

アノニマス（アメリカ合衆国／ニュージャージー） ――― 1989年1月号

献金も、受け継がれるもの？

ナルコティクスアノニマスのことをはじめて耳にしたときのことを思い起こしてほしい。刑務所や施設にいたか、それとも人づてで知ったのか。わたしたちはみんな、さまざま異なる道筋でNAにたどりつくけれど、その道の途中で、だれかがNAのことを教えてくれることによって手をさしのべてくれた・・・。だから、もし、献金袋に1ドルを入れるのをためらう気持ちがあるのであれば・・・「エリアだかりージョンだか知らないけど、わたしたちの献金を受け取るような活動をしていない」とか、「エリアもりージョンも頭ごなしに押しつけてくる」とか、どんな言い分があるにせよ、それをいきなり口にする前に・・・わたしたちは自分に問いかけてみるべきだ。「ほんとうに、こんなことをひとりでやりたいのか？」その結果、サービス機構などまったく必要ないというのなら、NAの行き着く先も決まってくるだろう。

ダナ・S（アメリカ合衆国／テネシー） ――― 2003年4月号

大切にしたいこと

グリーンになってからさまざまなことが変わった。消耗品の値段もほとんどが2倍か3倍になった。グリーンになりたてのころには税金も支払えなかった自分が、幸いにも今では毎年、かつて滞納したのと同じくらいの額を献金できるようになった。でも、今年になって気づいたことがある。自分が献金袋に入れているのは今も1ドルだし、自分の命を救ってくれたNAに対してきちんと定期的に与えていくようにはなっていない。それで、今年は何かしなくてはと思い立った。その計画をここに挙げてみよう。

- ・ 献金袋に少なくとも2ドル入れることにし、余裕のあるときには5ドルを入れる。これは、ガソリン1ガロンの値段が値上がりしたと考えればよい。
- ・ 毎年クリーンタイムを祝う日には、回復の記念としてNAワールドサービスに10ドル献金する。
- ・ NAワールドサービスに対しても、他のサービス機関にしているように毎月の献金プランを立てる。（NAのホームページをみて、これは献金窓口を利用すれば簡単にできることがわかった）
- ・ ボーナスや昇給があったら、必ず、その幸運を行動に表すことにする。これで、自分に与えられた恵みをわかちあうことを忘れないだろう。

回復は無償だが、
ミーティング場は
タダでは借りられない。

ボブ・R（アメリカ合衆国／カリフォルニア）
――― 1998年1月号

ハリール（アメリカ合衆国／ジョージア） ――― 2007年4月号

金銭にまつわるスピリチュアリティ

かつては与えるものなどなかった者たちが、こんなにたくさん経済的に自立して世界に光と希望を与えているなんて、すごい。みんながいてくれたから、後からつながったばくも使わない人生をこうして生きていけるんだ。ほんとうに、ありがとう。NA誕生時のメンバーたちにも心からお礼を言いたい。みなさんが自分たちの苦難にもかかわらず、与えることができたから、NAはこうして世界に広がる仲間の集まりになったのだろう。それと同じようにばくも与えることで、これからNAにつながる仲間たちのためになればと願っている。

マイケル・C（スペイン／マルベリャ） ――― 2008年4月号

NAのサービスが自分にはなぜ重要なのか

ここでは、私たちのP I & P Rサブコミティ（広報小委員会）が、NAミーティング用の看板を出すことについて、ある役所の代表者に話したときのことをお話ししよう。私たちの方からNAがどういう集まりであるかを説明し、・・・NAは経済的に自立しているで外部からの寄付を受け付けていないことをお伝えした。（すると、この代表者は）・・・私たちが好意や名声のようなものを欲していないことが信じられなかった・・・それで私たちは、もし薬物の問題を抱えている人をご存じなら、薬物を使わないで生きるすべを見出した仲間たちの集まりがあると教えていただければ幸いだ、とお伝えした。

マルセル・C（ブラジル／ブラジリア-D F） ――― 2011年7月号

数字でおさらい 2010年ワールドサービス カンファレンスでは、

2

議席と投票権のないリージョンの数。
デンマークとリトアニアの代表がゲストとして
はじめてカンファレンスに招かれた。

6

新たに代表席についたリージョンの数。
エジプト、エルサルバドル、ニカラグア、
ノースカロライナ、ポーランド、南ブラジル。

14

スペイン語圏から参加したリージョンの
代表者数。

67

アメリカ国内から出席したリージョンの
代表者数。

カナダからのリージョン代表は5名、
それ以外の国や地域では39のリージョン
代表が参加。

86

リージョン代表の代役として登録された
人数。内訳は、
アメリカ国内が66人、カナダが5人、
それ以外の地域が15人。

111

出席したリージョンの数。
(参加予定114リージョンのうち、
エクアドル、ル・ノルデ、ネパールが欠席)

154

男性の出席数。
女性は62名。

216

カンファレンスで一堂に会した出席者の数
350,000

イランのN Aメンバー数。
カンファレンスに代表を送ることで、
世界中の仲間たちに「あいさつ」をした

A Vision for NA Service

All of the efforts of Narcotics Anonymous are inspired by the primary purpose of our groups. Upon this common ground we stand committed.

Our vision is that one day:

- Every addict in the world has the chance to experience our message in his or her own language and culture and find the opportunity for a new way of life;
- Every member, inspired by the gift of recovery, experiences spiritual growth and fulfillment through service;
- NA service bodies worldwide work together in a spirit of unity and cooperation to support the groups in carrying our message of recovery;
- Narcotics Anonymous has universal recognition and respect as a viable program of recovery.

Honesty, trust, and goodwill are the foundation of our service efforts, all of which rely upon the guidance of a loving Higher Power.

つらい思いをしている仲間の苦しみを終わらせるために、
自分を使ってくださいと、コインを空高くかざして祈る。
NAにはそういうメンバーたちがいるらしい。
マイクル・C (スペイン/マルベラ) 2008年4月



N Aメンバーなら一度、N Aワールドサービスに献金してみよう。
もちろん、こちらでは一度と言わず、何度でも受けつけている。
www.na.org/?ID=donation-external-index

広報活動

私たちは広報活動に取り組むことにより、アディクトとかがわっている専門家とお互いにとってプラスになる関係を築き、維持していくことを目指している。何百とあるセルフ・ヘルプ・グループ（自助グループ）のなかからアディクトに効果のあるプログラムを選ぶとしたら、NAにおいて他にはないと考えてもらえるように、こちらから専門家に働きかけ、交流を深めていくことで、まだ苦しんでいるアディクトに手をさしのべることを共通の目的として協力し合えればと考えている。こうしてNAにつながる道筋があれば、アディクトたちは仲間と出会うことができ、使わないでまじめに努力しながら実り多い人生を歩んでいけるのだ。

2011年の秋に開かれたカンファレンス

NAワールドサービスはさまざまなカンファレンスに出席し、まだ苦しんでいるアディクトがNAにつながれるように協力してもらえそうな専門家たちに向けて、NAに関する情報を提供している。9月には、ノルウェーのオスロで開かれた国際アディクション学会（アディクションに関する国際医学会のカンファレンス）に出席した。ある医療研究者との協力関係があったおかげで、この会議に出席している間には、米国国立薬物乱用研究所や世界治療学連盟の首脳陣たちとも知り合うことができた。そして私たちは、地元で広報活動に取り組むメンバーたちとも協力関係を結んだ。このメンバーたちはノルウェーの専門家たちと会合を持ち、NAの情報や回復に関する文献を提供している。

昨年の秋にはもうひとつ、IFNGO（非政府組織の国際連合）のカンファレンスがマレーシアで開かれた。NAワールドサービスがこのカンファレンスに出席するのは、実に10数年ぶりである。それにもかかわらず、本会議（代表全員が出席する会議）のひとつを任せられたため、南アジアのNAに焦点をあてながら、世界に広がるNAという仲間の集まりの事を代表者たちに知ってもらうことができた。このあとで私たちは、政府関係者や、治療の専門家、警察官をはじめとするさまざまな分野の専門家たちから話しかけられ、NAの資料や文献を求められた。そして私たちが帰国してすぐ、タイ政府の関係者から連絡があり、NA文献提供への感謝が述べられるとともに、NAがタイで回復しようとしているアディクトの助けになることを願っていると伝えられた。

第34回 NAワールドコンベンション

広報活動も、世界に向けてとなれば士気が高まる。だが、地元での取り組みも同じくらい大事なのだ。サンディエゴで開かれたWCNA 34（第34回 NAワールドコンベンション）は、NAのワールドユニティデーに歴史的な快挙をなしとげた。これは、地元で広報活動に取り組んだおかげである。ユニティデーに電話回線を通じて参加したカリフォルニアの施設数は33で、新記録になった。つまり、8,000人以上ものアディクトが収監先の施設でNAの回復のメッセージを聞き、世界中のNAメンバーたちからの愛を感じたというわけだ。このような歴史的快挙は、魔法のように起こるものではない。ノーザン カリフォルニア リージョンのH&I（病院施設委員会）とPR（広報委員会）で信頼されるしもべとなり、カリフォルニア矯正施設局との協力関係を作りあげたメンバーたちの共同作業があってこそ、成しとげられたものなのだ。ユニティデーの呼びかけはこの共同作業のすばらしさを見せつけるものになったが、共同作業はずっと以前から始まっているし、その努力の成果はこれだけに終わらず、今もさまざまなかたちで現れている。だから、もし、世界中のリージョンのH&I（病院施設委員会）とPR（広報委員会）が、地元にある矯正施設局と互いにプラスになるような関係を結べば、世界中の施設にいるアディクトたちが次回のユニティデーの呼びかけでNAのメッセージを耳にすることができるだろう。

みなさんからもぜひ、地元で成し遂げられた快挙や成功談を聞かせていただきたい。それを聞いて、私たちはみなさんの取り組みのために力になれるよう努力しよう。屋外掲示板や交通機関に掲載されたNAのシンボルマークなどの写真でもいいし、保健衛生に関する催しや地域社会の活動への参加報告でもいい。ほかにも地元なりの広報の取り組みがあれば、報告を歓迎する。なお、広報をはじめとするさまざまなサービスについては、www.na.org/?ID=local_resource_areaで情報を共有していただくか、直接メール（PR@na.org）をいただきたい。このほか、『ベーシック』シリーズに関するサイト PR Basics, H&I Basics, Planning Basics でも、サービスにかかわるメンバーたちを応援している。

調査結果

今回のメンバーシップ調査は、WCNA 34（第34回NAワールドコンベンション）で実施され、2012年2月10日からインターネットで見られるようになった。これによって、NAメンバーに関する情報が無名のまま提供される。調査には、NAミーティングへの出席に影響力のあったもの、NAにつながってからのような面で人生が改善されたか、クリンタイムの長さなど、さまざまな質問が設けられている。これは言うまでもなく、どんなアディクトでも回復しようと努力すれば、薬物へのとらわれから解放されることを、NAの悲願としているからだ。メンバーシップ調査のデータは、NAのメンバー構成をかいま見せてくれることで、NAが実にさまざまなアディクトの集まりであることを物語っている。このため、NAプログラムがどんなアディクトでも実行できる回復のプログラムであるという事実を自信をもって示すものとして、NAWS（NAワールドサービス）や世界中の国や地域の信頼されるしもべたちが、アディクトにかかわっている専門家たちにNAのことを伝えるのに役立つだけでなく、家族や未来の仲間たちにも役立つ情報になっている。

そしてNAのメンバーシップ調査とは別に、私たちは現在、同じような調査を企画した医療研究者との共同作業にも取り組んでいる。これまでのアディクションに関する研究のほとんどが、NA以外の回復者の集まりについて実施されたものであるため、この研究者はNAだけに関する情報から医学界は恩恵を受けると考えたのだ。この研究者による報告が届き、こちらでの見直しをすませたら、早速、NA全体に詳しい情報を提供することになる。

みなさんが、この広報活動に関する記事を読んで元気づけられたと感じたら、ぜひ地元の広報小委員会によるミーティングに参加していただきたい。そうすれば、どうやってサービスにかかわればいいのかわかるだろう。未来の仲間たちがNAにつながって回復の道を歩めるように、アディクトでも使わないで生きられるというメッセージを届けていくなかで、メンバーによる取り組みがきわめて重要になるのだ。

WSC 2012: First things first

The opening session of the World Service Conference is a time for coming together. Like the beginning of an NA recovery meeting or the opening of a service body's meeting, this session sets the tone for the gathering. The WSC begins this week of business and discussions with a moment of silence, NA readings, and introduction of conference participants.

To close the first session, regional delegates and their alternates, WSC cofacilitators, World Board and Human Resource Panel members, NAWS staff, and other interested members take part in another of our shared practices: they form a circle by linking arms, and close the meeting with the Serenity Prayer. In this setting, the prayer is spoken first in English and then, one after the other, in all of the language groups present. Here is that familiar prayer in some of the languages heard at the WSC.

Arabic ✧ اللهم امنحني السكينة لأتقبل ما لا أستطيع تغييره، والشجاعة لأغير ما أستطيع تغييره، والحكمة لأعرف الفرق بينها.

Danish ✧ Gud, giv mig sindsro til at acceptere de ting jeg ikke kan ændre, mod til at ændre de ting jeg kan og visdom til at se forskellen.

Farsi ✧ خداوندا ، آرامشی عطا فرما تا بپذیرم ، آنچه را که نمی توانم تغییر دهم. شهامتی ، تا تغییر دهم ، آنچه را که می توانم. و دانشی که تفاوت این دو را بدانم.

Filipino ✧ Panginoon, ipagkaloob mo po sa akin ang kahinahunan na tanggapin ang mga bagay na hindi ko na mababago, lakas ng loob na mabago ang mga bagay na kaya kong baguhin at dunong na malaman ang kaibahan.

Finnish ✧ Jumala, suo minulle tyyneyttä hyväksyä asiat, joita en voi muuttaa, rohkeutta muuttaa mitkä voin ja viisautta erottaa nämä toisistaan.

French ✧ Mon Dieu, donne-moi la sérénité d'accepter les choses que je ne peux changer, le courage de changer les choses que je peux, et la sagesse d'en connaître la différence.

Gaelic ✧ A Thiarna Cuidigh liom a bheith sásta glachadh leis an méid nach féidir liom a athròe, Tabhair an misneach dom athròe a dhéanamh nuair is féider; Ach go mor mor, Tabhair an aigne dom an dáchinéal a athint —na chéile

German ✧ Gott, gebe mir die Gelassenheit, die Dinge hinzunehmen, die ich nicht ändern kann, den Mut die Dinge zu ändern, die ich ändern kann, und die Weisheit, das eine vom anderen zu unterscheiden.

Greek ✧ Θεέ μου, δώσε μου τη γαλήνη να δέχομαι τα πράγματα που δεν μπορώ ν' αλλάξω, το κουράγιο ν' αλλάζω αυτά που μπορώ, και τη σοφία να γνωρίζω τη διαφορά.

Hebrew ✧ אלי, תן בי את השלווה לקבל את הדברים שאין ביכולתי לשנותם, אומץ לשנות את הדברים אשר ביכולתי ואת התבונה להבחין בין השניים.

Hindi ✧ gsbZoj eqsvlRe&' WfUr nksmu phtksdksLohdkjusdh ftUgse&ncy ugh I drk fgEer nksmu phtksdks cnyusdh ftUgse&ncy I drk gwljs bu nksksstks tkuusdh I netj nks

Italian ✧ Signore, concedimi la serenità di accettare le cose che non posso cambiare, il coraggio di cambiare quelle che posso la saggezza di conoscerne la differenza.

Japanese ✧ 神様、私にお与えください 自分に変えられないものを受け入れる 落ち着きを 変えられるものは 変えてゆく 勇気を そして二つのものを見分ける 賢さを

Lithuanian ✧ Dieve, suteik man ramybės Susitaikyti su tuo, ko negaliu pakeisti, Drąsos keisti, ką galiu pakeisti, Ir išminties tą skirtumą suprasti.

Manipuri ✧ #Áṛ, Šā>ṁáÚā' ṛRjā-fā Š[Aj] ṛṀtjāṁifā ēŌā}Ōpā RjṀfṀ[A]fṀā' ŌāAṛā Úā\>ṁā, ' ŌāAṛā ēŌā}Ōpā Rj ṛ[A]fṀāēŌā}>ṁKā ē=i>ā, " 3Ṫṅ ēJÁṁfṀāJRj\>ṁKā ēṀi[A]jū

Maori ✧ E te Atua, tukua mai he ngakau mahaki (ki a matou) Kia tau tonu te rangimarie i roto i nga uauatanga, Me te kaha ki te whakatika i nga marotanga, Ki a matou, kia marama hoki nga rereketanga.

Norwegian ✧ Gud, gi meg sinnsro til å godta de ting jeg ikke kan forandre, mot til å forandre de ting jeg kan, og forstand til å se forskjellen.

Polish ✧ Boże, użycz mi pogody ducha, abym godził się z tym, czego nie mogę zmienić, odwagi, abym zmieniał to, co mogę zmienić i mądrości, abym odróżniał jedno od drugiego.

Portuguese ✧ Concedei-me, Senhor, a serenidade para aceitar as coisas que eu não posso modificar, a coragem para modificar aquelas que eu posso, e a sabedoria para distinguir umas das outras.

Russian ✧ Боже, дай мне разум и душевный покой, Принять то, что я не в силах изменить; Мужество, изменить то, что я могу; И мудрость, отличить одно от другого.

Spanish ✧ Dios, concédeme la serenidad para aceptar las cosas que no puedo cambiar, valor para cambiar las que puedo, y sabiduría para reconocer la diferencia.

Swedish ✧ Gud, ge mig sinnesro att acceptera det jag inte kan förändra, mod att förändra det jag kan, och förstånd att inse skillnaden.





Living Clean: The Journey Continues

The
process
was
more
weaving
than
writing.

In working on “Living Clean,” we continually sought ways to express the wide range of experience in NA without being absolute or diminishing the power of the message. This always brought us back to the spiritual principles on which our recovery is based. Whether we’re sharing at a meeting or writing a book, we find that it’s always about the principles we practice and about the tools we use to learn them.

For this project, we called upon every means we could imagine to solicit experience from members worldwide. Of course, it was impossible for us all to gather for centralized, face-to-face workshops, but technology helped us come together, even though we couldn’t always be in one room. Many communities around the world held workshops, and we gathered input at events like conventions and zonal forums.

We used these methods and more for “Living Clean.” We began with an e-blasted survey about challenges in recovery. The responses helped determine overall categories to build the outline. Once we built the outline, we read input to “harvest gems”: choice lines, situations, turns of phrases. We listened to convention tapes and read *NA Way Magazine* articles and old NA literature drafts. We established an online bulletin board to solicit experiences, where members shared on topics ranging from relationships to spirituality to physical health.

Early on, we thought we could identify issues or processes as markers of cleantime, but member input showed us we were wrong about that. This early engagement by the Fellowship helped shape the first draft. Innovative software allowed us to “brainstorm” by mapping input around topics, organizing by idea rather than story. This made the material anonymous; it was impossible to recognize a statement as belonging to a specific member. Bringing input together this way also made it easier to identify underpinning spiritual principles.

Once we had a basic draft, we resorted to an old standby—scissors and tape. Arranging and rearranging, we found a flow that worked. Letting ourselves learn in the process meant the outline was a guide, but we had to let it change as we learned. For example, as we progressed, a reader suggested a progression to the material we hadn’t seen. We worried that it might be disorienting to change the chapter order after the outline had been sent out, but that’s the purpose of review and input—for the Fellowship to impact the draft.

For years, we’ve been talking about and reporting on our struggles to develop a more responsive literature development process. We’ve tried different review-and-input approaches, varying the work plan and timeline with each book, but we’ve learned that when the Fellowship is involved in early development, the text as a whole can truly be shaped by our collective ideas rather than just fine-tuned by input on a completed draft. We hope to continue trying new ideas suggested by our members and our experiences to improve our literature development process. As the Preface of the approval draft of “Living Clean: The Journey Continues” tells us:

Our greatest treasure and resource is the depth of our personal knowledge of the recovery process.... This book...is intended both as an offering to new members and to rekindle the passion of our oldtimers.





Multi-day events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at www.na.org/events. (If you don't have Internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or The NA Way; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Canada

Alberta 18-20 May; Chinook Area Convention 25; Delta South Hotel, Calgary; www.chinookna.org
 2) 25-27 May; Edmonton Area Convention 27; Sands Hotel & Conference Centre, Edmonton; www.eana.ca
 British Columbia 13-15 Apr; Victoria Convention 7; Juan de Fuca Recreation Center, Victoria; www.victorianaconvention.ca
 2) 15-17 Jun; Central Okanagan Area Convention 23; Green Bay, West Kelowna; www.coascna.ca
 Ontario 18-20 May; Ontario Regional Convention 25; Hilton Garden Inn, Ajax; www.orcna.ca
 Saskatchewan 27-29 Apr; Central Saskatchewan Area Convention; Heritage Inn, Saskatoon; www.csana.org

Denmark

Skanderborg 3-5 Aug; Area Midtjylland Convention & Camp 5; Audonicon, Skanderborg; www.nakonvent.dk
 Frederiksberg 25-27 May; Copenhagen Area Convention 19; Sofus Francks School, Frederiksberg; www.nakbh.dk

Germany

Berlin 4-6 May; Berlin International Convention 4; Berliner Stadtmision, Berlin; www.binac.de

India

Manipur 5-7 May; Imphal Area Convention 5; Imphal Hotel, Imphal; nacia5convention@gmail.com

Italy

Naples 20-22 Apr; Italian Regional Convention 29; Congressual Hotel, Castellammare di Stabia, Napoli; www.na-italia.org

Panama

Panama City 13-15 Jul; Panama Regional Convention 9; Hotel El Panama, Panama City; www.napanama.org/

Peru

Ucayali Region 18-20 May; Peru Regional Convention 18; Hotel Sol de Oriente, Pucallpa; 51.999700325

Puerto Rico

Isla Verde 27-29 Jul; Del Coqui Regional Convention 23; Verdanza Hotel, Isla Verde; www.prna.org

Russia

Moscow 17-19 Aug; European Convention & Conference NA 28; Druzhba (Friendship) Multipurpose Arena, Moscow; www.eccna28.org

Slovakia

Bratislava 20-22 Apr; First Czecho-Slovak Convention; KC Dunaj, Bratislava; www.anonymninarkomani.sk

United States

Arizona 25-27 May; Arizona Regional Convention 26; Doubletree Paradise Valley Resort, Scottsdale; www.arizona-na.org/arcna
 Arkansas 20-22 Apr; Central Arkansas Area; The Joy Is in the Journey Campout; Dam Site Park, Greers Ferry Lake; serenaleighw@yahoo.com

California 8-10 Jun; California Mid-State Regional Convention 12; Radisson Inn, Fresno; www.calmidstatena.org/convention.htm

2) 20-22 Jul; Greater Los Angeles Area Convention 6; LAX Hilton Hotel, Los Angeles; www.glaana.org

Colorado 6-8 Jul; Colorado Regional Rocky Mountain Campout; Printer Boy Campground, Leadville; www.nacolorado.org/events/calendar.php

Connecticut 11-13 May; Straight from the Hip Group Women's Sponsorship Retreat 8; Incarnation Retreat Center, Ivoryton; www.ctna.org/activities-calendar.cfm

Florida 26-29 Apr; Alabama NW Florida Region Fun in the Sun 35; Paradise Palms Inn/Days Inn Beach, Panama City Beach; www.funinthesunconvention.org

2) 4-6 May; Daytona Area Convention 13; Plaza Resort & Spa, Daytona Beach; www.daytonana.org

3) 5-8 Jul; Florida Regional Convention 31; Marriott Tampa Waterside, Tampa; www.floridarso.org

4) 3-5 Aug; Big Bend Area Convention 15; North Monroe Street Conference Center, Tallahassee; www.bigbendna.org

Georgia 3-6 May; A Little Girl Grows Up Convention 4; Sheraton Gateway Atlanta Airport, College Park; 718.926.4360

2) 18-20 May; Marietta Area History Rising Conference/Family Reunion; Atlanta Marriott Northwest, Atlanta; www.narising.org

3) 5-8 Jul; Midtown Atlanta Area Convention 21; Sheraton Atlanta, Atlanta; www.midtownatlantana.com

Illinois 27-29 Apr; Rock River Area Convention 21; Clock Tower Resort & Convention Center, Rockford; www.rragsna.org

Kansas 13-15 Apr; Mid-America Regional Convention 29; Topeka Holiday, Topeka; www.marscna.net

Louisiana 30 Aug-2 Sep; New Orleans Area Convention 12; Hilton New Orleans Riverside, New Orleans; www.noana.org

Maryland 13-15 Apr; Chesapeake & Potomac Regional Convention 26; Roland E Powell Convention Center, Ocean City; www.cprcna.org

2) 1-3 Jun; Baltimore Area Convention 10; Baltimore Convention Center, Baltimore; www.baltoareana.org

Massachusetts 13-15 Jul; Boston Area Convention 15; Revere Hotel/Boston Common, Boston; 617.988.5101

2) 3-5 Aug; Western Mass Area Convention 12; Sheraton Hotel, Springfield; 413.537.0259

Minnesota 13-15 Apr; Minnesota Regional Convention 19; Kahler Grand Hotel, Rochester; www.naminnesota.org

Mississippi 27-29 Apr; Foglifters Group Fellowship under the Stars Campout; Roosevelt State Park, Morton; www.midmsna.org

Montana 15-17 Jun; Montana Regional Gathering 24; Symmes Hotel, Hot Springs; www.namontana.com

Nebraska 20-22 Apr; Elkhorn Valley Area Wings of Surrender Women's Retreat 4; Camp Moses Merrill, Linwood; 402.841.8966

2) 25-28 May; Nebraska Run for Fun 32; Alexandria State Recreation Area, Alexandria; www.nebraskana.org

3) 15-17 Jun; Great Plains Area Midsummer Night Campout 22; Sandy Channel State Recreation Area, Elm Creek; www.nebraskana.org

Nevada 8-10 Jun; Region 51 Convention 2; Orleans Hotel & Casino, Las Vegas; www.region51na.org

2) 20-22 Jul; California Arizona Nevada Area Convention 20; Riverside Resort, Laughlin; www.canana.org

New Hampshire 22-24 Jun; Granite State Area Fellowship in the Field Campout 22; Apple Hill Campground, Bethlehem; www.gsana.org
 2) 3-5 Aug; Granite State Area Convention 7; Courtyard Marriott Nashua, Nashua; www.gsana.org
 New Jersey 8-10 Jun; Ocean County Area Convention 6; Berkeley Oceanfront Hotel, Asbury Park; www.convention.ocanj.org
 2) 6-8 Jul; New Jersey Regional Convention 27; Crowne Plaza, Cherry Hill; www.nanj.org
 New Mexico 10-13 May; Rio Grande Regional Convention 23; Albuquerque Marriott Pyramid North, Albuquerque; www.riograndena.org
 2) 2-3 Jun; Lower Organ Mountain Area White Sands Potluck, Campout, & Meeting under the Full Moon; White Sands National Monument Park, Alamogordo; www.riograndena.org
 New York 25-27 May; Heart of New York Area Convention 8; Holiday Inn, Liverpool; www.honyana.org
 North Carolina 20-22 Apr; Greater Charlotte Area Convention 26; The Blake Hotel, Charlotte; www.boundforfreedom26.com
 2) 18-20 May; Down East/Inner Coastal/Crossroads Area Convention 7; City Hotel & Bistro, Greenville; 609.501.3735
 3) 8-10 Jun; Capital Area Family Reunion Convention 23; Holiday Inn Brownstone, Raleigh; www.capitalareancna.com

Ohio 6-8 Jul; Dayton Area Convention 9; Crowne Plaza, Dayton; www.naohio.org
 Oregon 25-27 May; Pacific Cascade Regional Convention 18; Holiday Inn, Springfield; www.pcrna.org
 Pennsylvania 15-17 Jun; East Coast Convention 16; Robert Morris University, Moon Township; 412.537.7880
 South Dakota 5-12 Aug; Otherside Group Sheridan Lake Campout 18; Sheridan Lake North Shore, Hill City; 605.391.4896
 Texas 25-27 May; Texas State Convention 10; Westin Houston Memorial City, Houston; www.tscna.org
 Utah 29 Jun-1 Jul; Southern Utah Area Convention 5; Lexington Hotel, Saint George; www.suana.org/Events.html
 Virginia 25-28 May; Marion Survivor's Group Campout 16; Hungry Mother Lutheran Retreat Center, Marion; mfisher71@hotmail.com
 West Virginia 11-13 May; Mountaineer Region The Masks Have to Go; Cedar Lakes, Ripley; www.mrscna.org
 Wisconsin 27-29 Apr; Inner City Area Convention; Crowne Plaza, Milwaukee; 414.517.7963
 2) 1-3 Jun; Big Rivers Area I Can't, We Campout 8; Wildcat Mountain State Park, Ontario; www.bigriversna.org
 Wyoming 18-20 May; Upper Rocky Mountain Regional Convention 13; Days Inn-Hot Springs Convention Center, Thermopolis; www.urmrna.org/convention.html

www.na.org/subscribe

NAWS News

Reaching Out

NAWS Email Updates

The NA Way Magazine

Just for Today
daily email

e-subscribe:
no printing costs
no mailing costs
direct email delivery

NAWS PRODUCT UPDATE



Bengali

IP No. 6

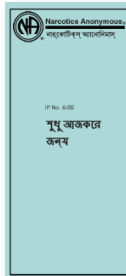
আরোগ্যলাভ এবং পুনরাক্রমণ

Item No. BE-3106 Price US \$0.22

IP No. 8

শুধু আজকের জন্য

Item No. BE-3108 Price US \$0.22



Norwegian

IP No. 24

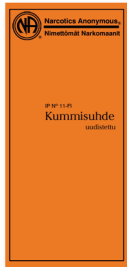
Håndtering av penger Selvforsørging i NA

Item No. NR-3124 Price US \$0.48

IP No. 28

Finansiering av tjenester i NA

Item No. NR-3128 Price US \$0.32



Finnish

IP No. 11

Kummissuhde

Item No. FI-3111 Price US \$0.22

Russian

IP No. 9

Жить программой

Item No. RU-3109 Price US \$0.22

An Introduction to NA Meetings Собрания сообщества АН: Что это такое?

Item No. RU-2201 Price US \$0.22

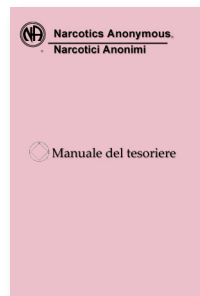


Italian

Treasurer's Handbook

Manuale del tesoriere

Item No. IT-2109 Price US \$1.90



Swedish

Group Reading Cards (7-card set)
updated to include "We Do Recover"

Item No. SW-9130 Price US \$4.00





Coming soon

Croatian

An Introductory Guide to NA
Vodič za upoznavanje s
Anonimnim narkomanima

Item No. CR-1200 Price US \$1.80



Hindi

The NA Step Working Guides

ukj dkwDI , ukwv
dsdnehsdsvey
esykusdh | nf' kzk, j

Item No. HI-1400 Price US \$7.70

Finnish

An Introductory Guide to NA, Revised
Alustava opas
Nimettömiin Narkomaaneihin

Item No. FI-1200 Price US \$1.80



Deeply discounted
WCNA 34 Merchandise
spirit&unity

is available online!

www.hicorpinc.com/na

Choose from a variety of clothing and caps, mugs, travel mugs,
and specialty items like microfiber screen/eyeglass cleaning cloths.

You can also purchase merchandise from previous NA world conventions at blow-out prices.

Treat yourself or buy a gift for a friend or sponsee/sponsor.

All sales are final and quantities and sizes are limited to stock on-hand.

